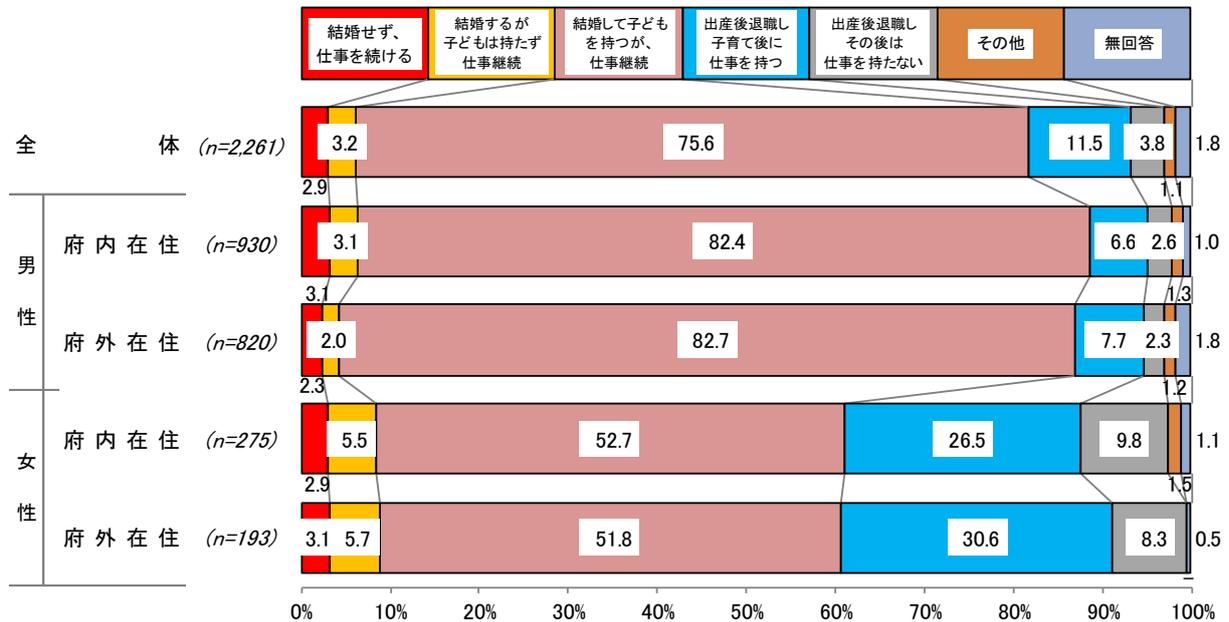


## 5. 理想の生き方について

### (1) 自分が理想とするライフコース

問46 あなたご自身が理想とする人生は、どのようなタイプですか。あてはまるものを1つお選びください。

図表 5-1-1



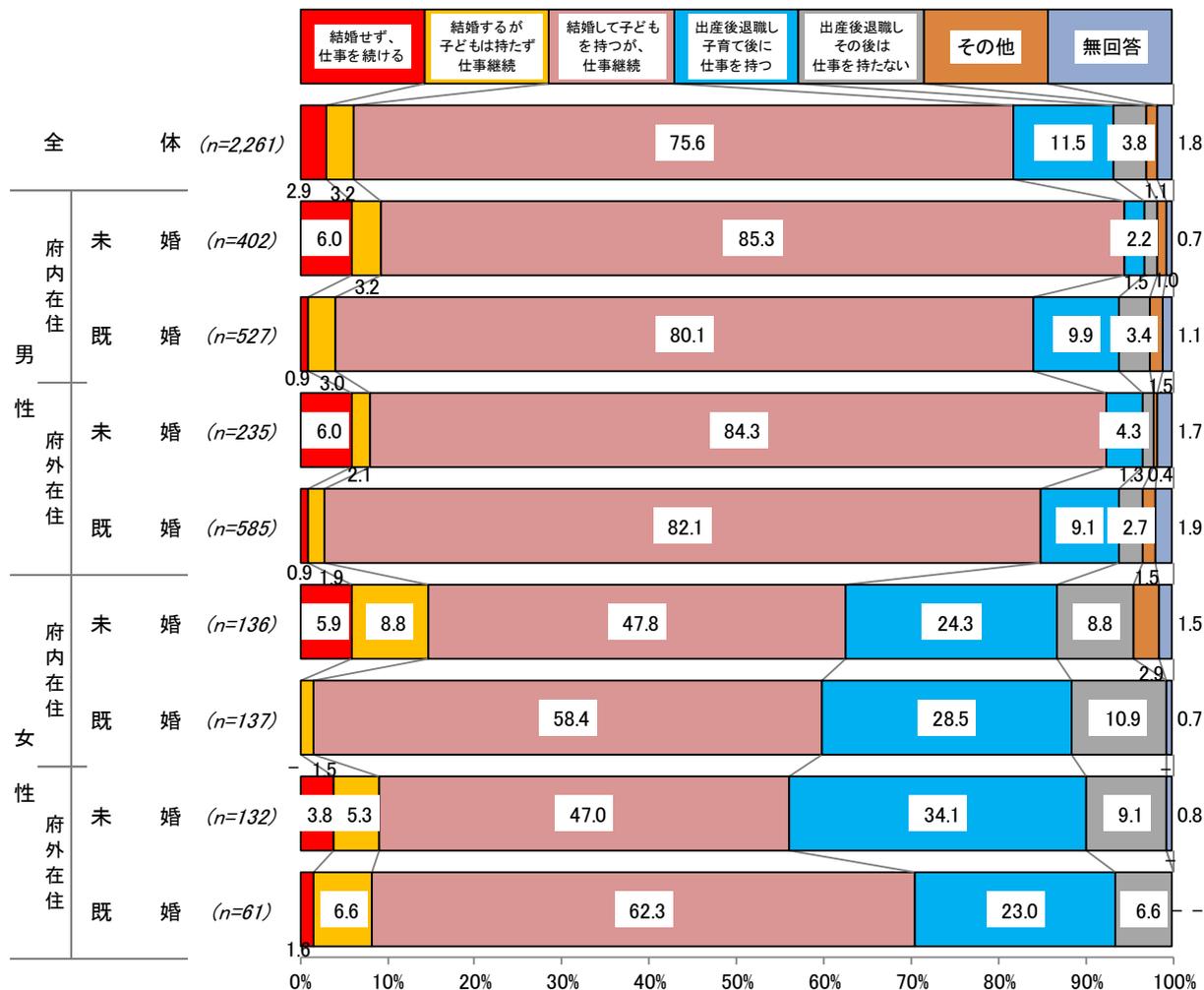
者自身が理想とする、結婚・子育て・仕事の視点からのライフコースを聞いたところ（図表 5-1-1）、「結婚して子どもを持つが、仕事も続ける（育児休業制度の利用を含む）」（以下、「就労継続型」という者が 75.6%で最も多く、次いで「結婚して子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」（以下、「中断再就職型」）が 11.5%となっている。

性・居住地別にみると（図表 5-1-1）、男女それぞれについて、居住地による大きな差はみられない。

男女別にみると、男性では「就労継続型」（府内 82.4%、府外 82.7%）という者が 8 割を超えているが、女性では「就労継続型」（同 52.7%、51.8%）は約半数で、「中断再就職型」（同 26.5%、30.6%）は約 3 割となっており、男女差がみられる。

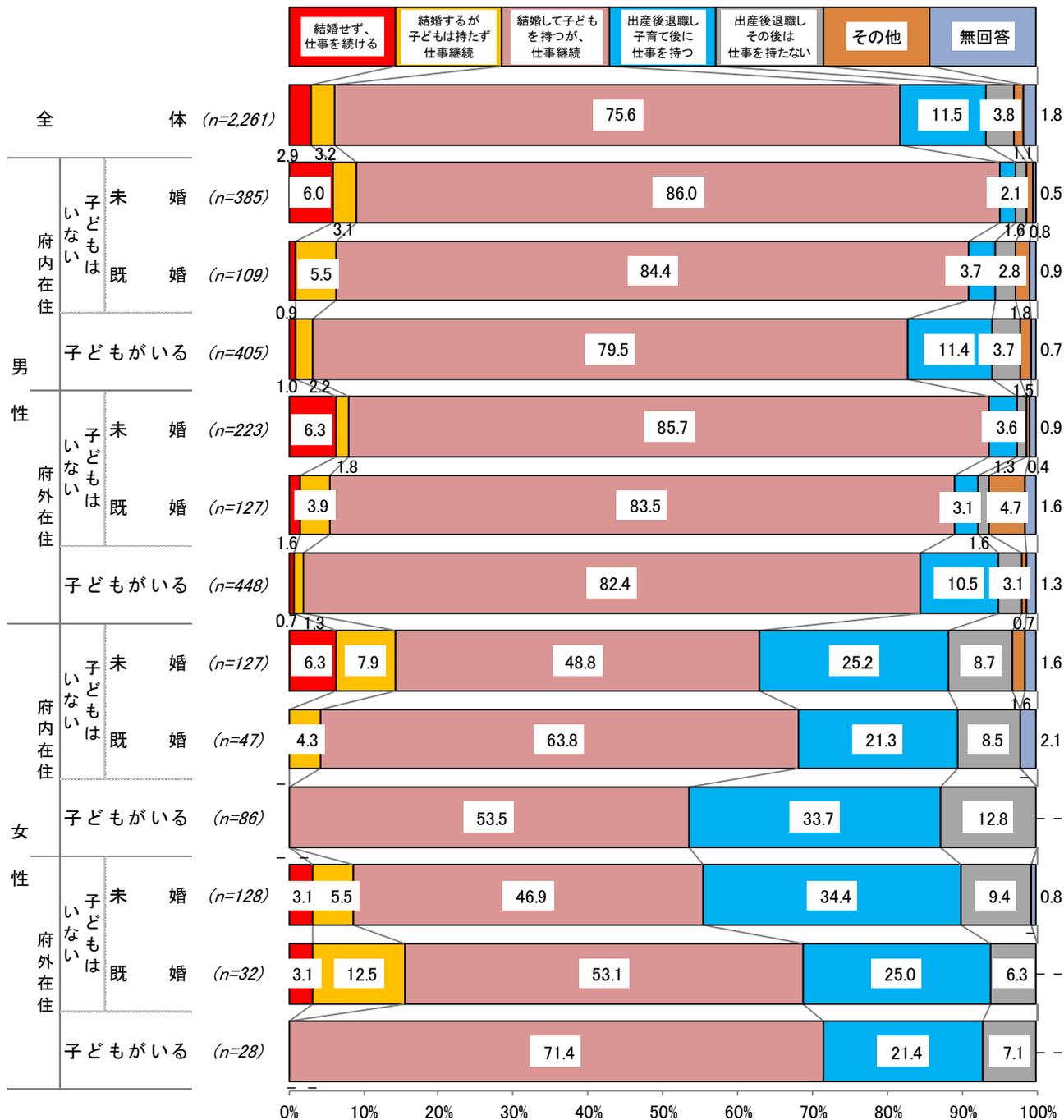
性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 5-1-2）、男性では「中断再就職型」を理想とする者は、居住地にかかわらず既婚者（府内 9.9%、府外 9.1%）が、未婚者（同 2.2%、4.3%）を上回る。一方、女性では、居住地にかかわらず既婚女性で「就労継続型」（同 58.4%、62.3%）が 6 割前後と、未婚女性（同 47.8%、47.0%）より多い。

図表 5-1-2 自分が理想とするライフコース（性・居住地・婚姻状況別）



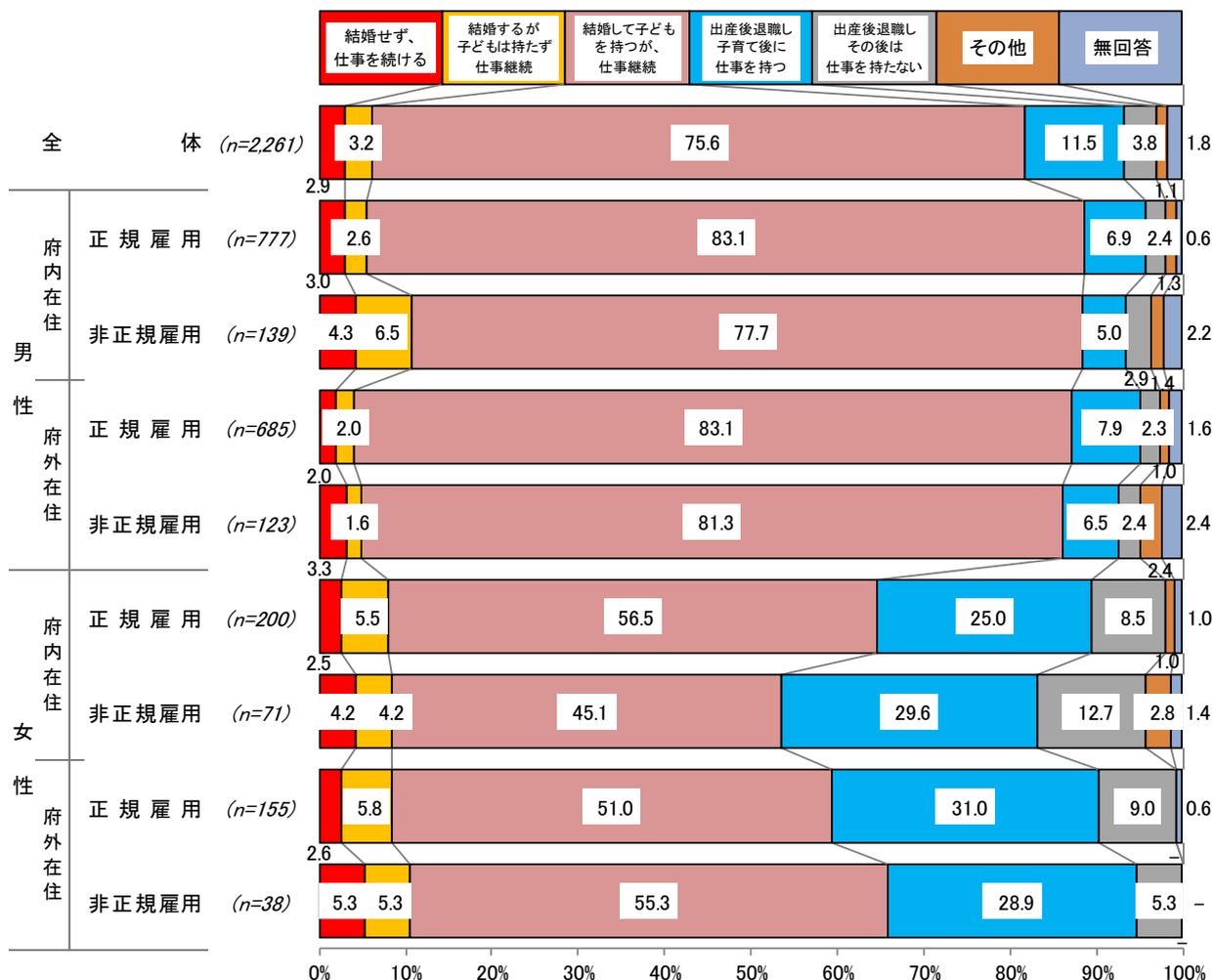
性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 5-1-3）、男性では子どもがいる層で「中断再就職型」（府内 11.4%、府外 10.5%）が 1 割程度と、男性の中ではやや多くなっている。一方、女性は、府内在住の子どものいる女性の過半数は「就労継続型」（53.5%）を理想としている。また、子どものいない未婚者では、居住地にかかわらず「就労継続型」（府内 48.8%、府外 46.9%）を理想とする者は半数近く差はみられないが、「中断再就職型」（同 25.2%、34.4%）を理想とする者は府内在住者より府外在住者に多くなっている。

図表 5-1-3 自分が理想とするライフコース（性・居住地・子どもの有無別）



性・居住地・就労状況別に大きな差はみられないが（図表 5-1-4）、府内在住の非正規雇用の女性で「結婚して子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない」こと（「結婚・出産退職型」：12.7%）を理想とする者がやや多くなっている。

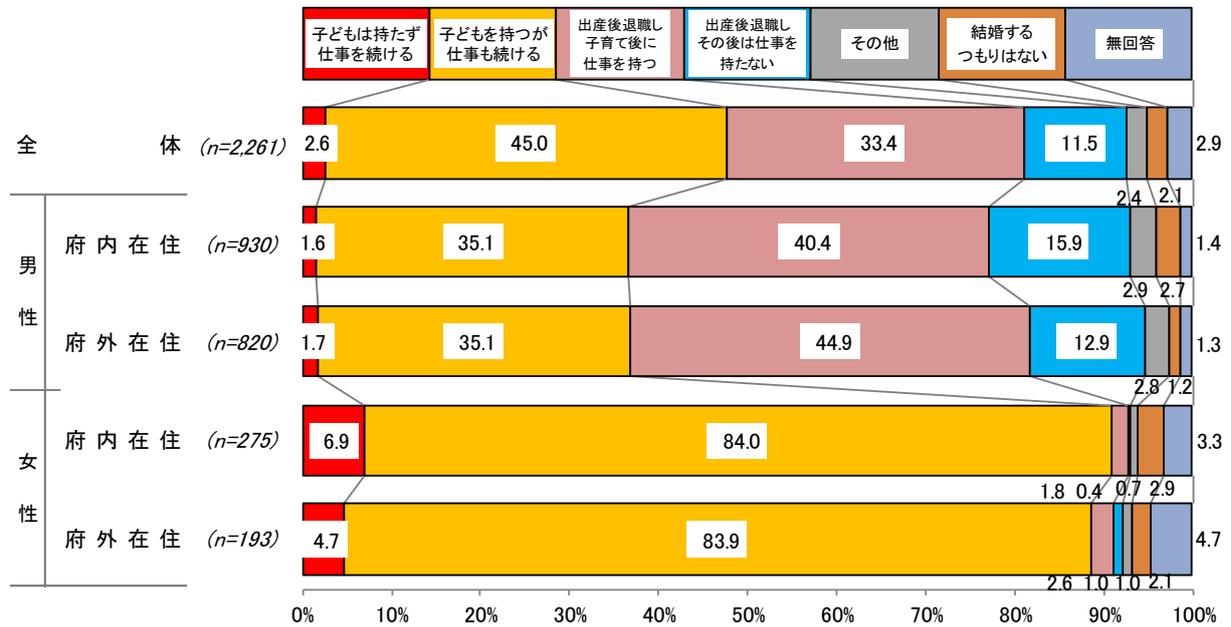
図表 5-1-4 自分が理想とするライフコース（性・居住地・就労状況別）



(2) 配偶者（パートナー）に望むライフコース

問47 あなたの配偶者（パートナー）には、どのような人生を送ってほしいと思いますか（思っていましたか）。あてはまるものを1つお選びください。

図表 5-2-1



配偶者（パートナー）に望むライフコースとしては（図表 5-2-1）、「子どもを持つが、仕事も続ける（育児休業制度の利用を含む）」（以下、「就労継続型」）が 45.0%で最も多く、次いで「子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」（以下、「中断再就職型」）が 33.4%である。

性・居住地別にみると（図表 5-2-1）、男女ともに居住地による大きな差はみられない。

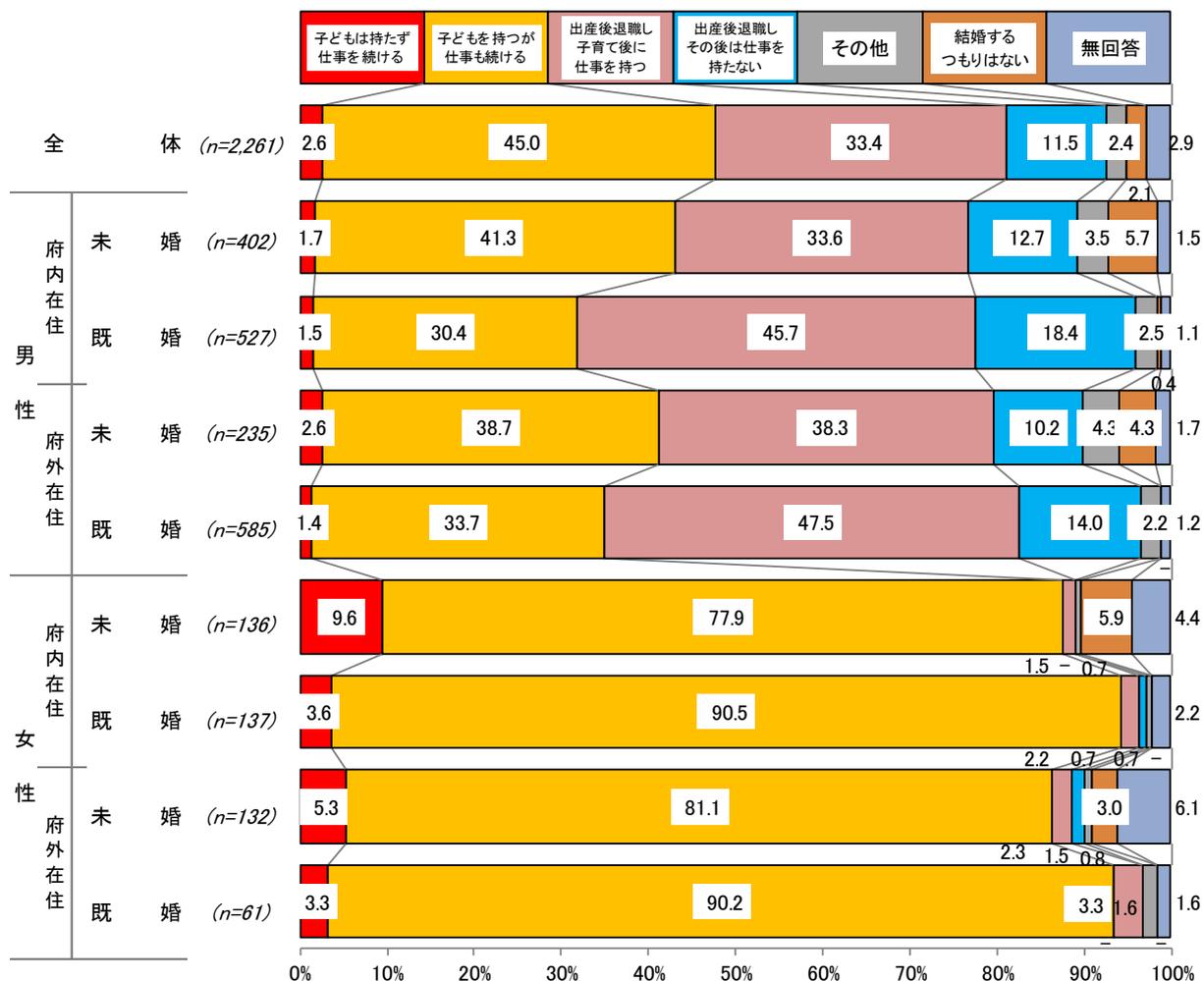
男女別にみると、女性は 8 割以上が、夫に対して「就労継続型」（府内 84.0%、府外 83.9%）の生き方を望んでいる。一方、男性では、妻に対して「中断再就職型」（同 40.4%、44.9%）の生き方を望む者が 4 割台で最も多く、次いで「就労継続型」（ともに 35.1%）を望む者が多くなっている。

妻に、「子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない」こと（以下、「結婚・出産退職型」）を望む男性は府内在住者で 15.9%、府外在住者で 12.9%である。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 5-2-2）、男性では居住地にかかわらず、妻に対して「就労継続型」を望む者が、既婚者（府内 30.4%、府外 33.7%）より未婚者（同 41.3%、38.7%）に多い。これに対して、妻に「中断再就職型」を望む者は、未婚者（同 33.6%、38.3%）より既婚者（同 45.7%、47.5%）に多い。

女性では、自分自身の理想のライフコースとして「結婚するが、子どもは持たず仕事を続ける」が 1 割近かった府内在住の未婚者（9.6%）で、夫にも「子どもは持たず、仕事を続ける」ことを望む者が 9.6%と、やや多い。

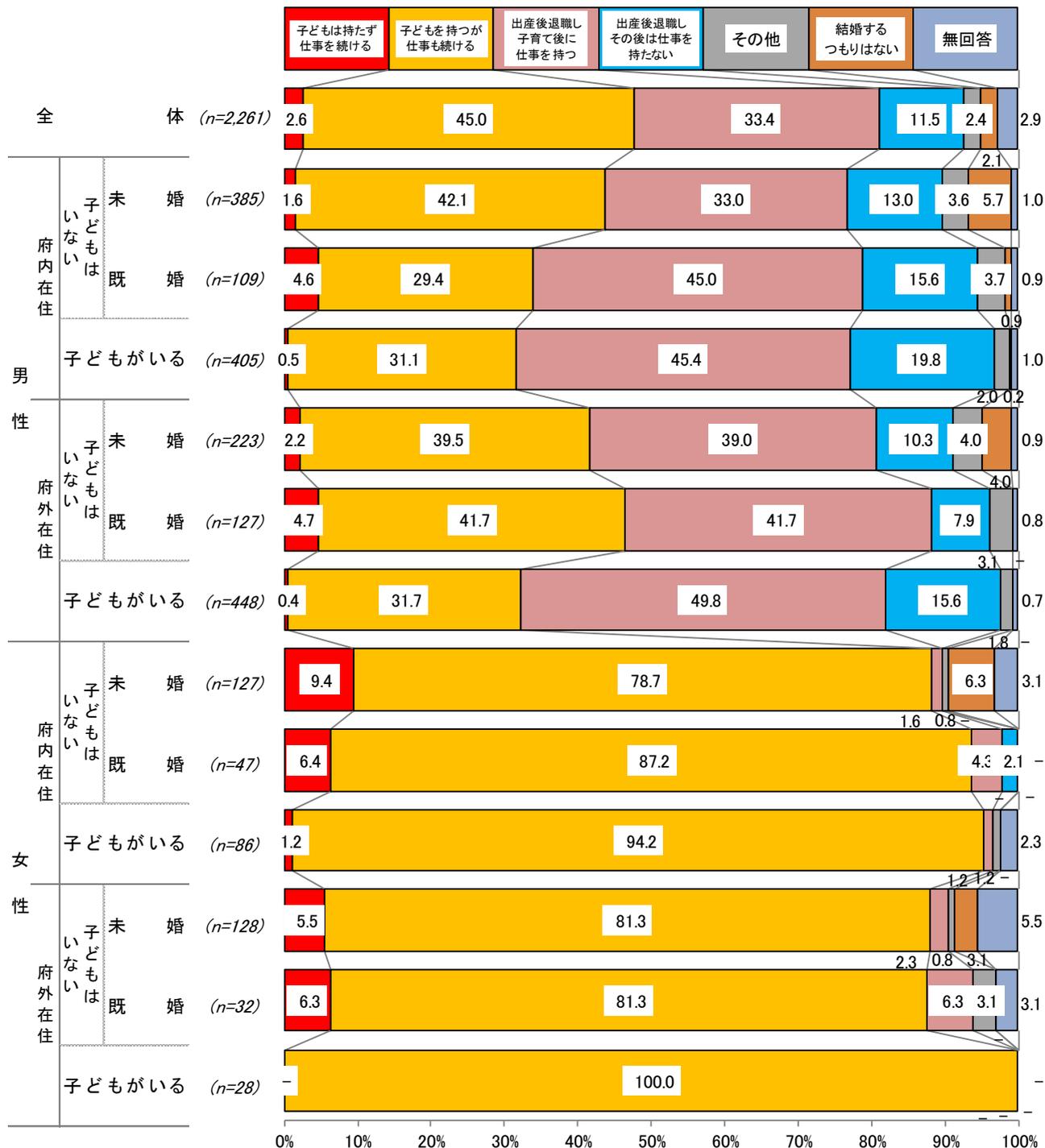
図表 5-2-2 配偶者（パートナー）に望むライフコース（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 5-2-3）、男性では、子どものいない未婚者では府内在住の未婚者は、妻に「就労継続型」を望む者が 42.1%と、最も多くなっているが、子どものいない既婚者では「中断再就職型」（45.0%）を望む者が多く、婚姻状況による差がみられる。一方、府外在住者の子どもいない層では婚姻状況による差はみられず、妻に「就労継続型」（未婚 39.5%、既婚 41.7%）もしくは「中断再就職型」（同 39.0%、41.7%）を望む者が、それぞれ 4 割前後となっている。子どもがいる男性では、「中断再就職型」（府内 45.4%、府外 49.8%）を希望する者が最も多い。

一方、女性では、子どもの有無、婚姻状況にかかわらず、大多数が夫に対して「就労継続型」を望んでいる。

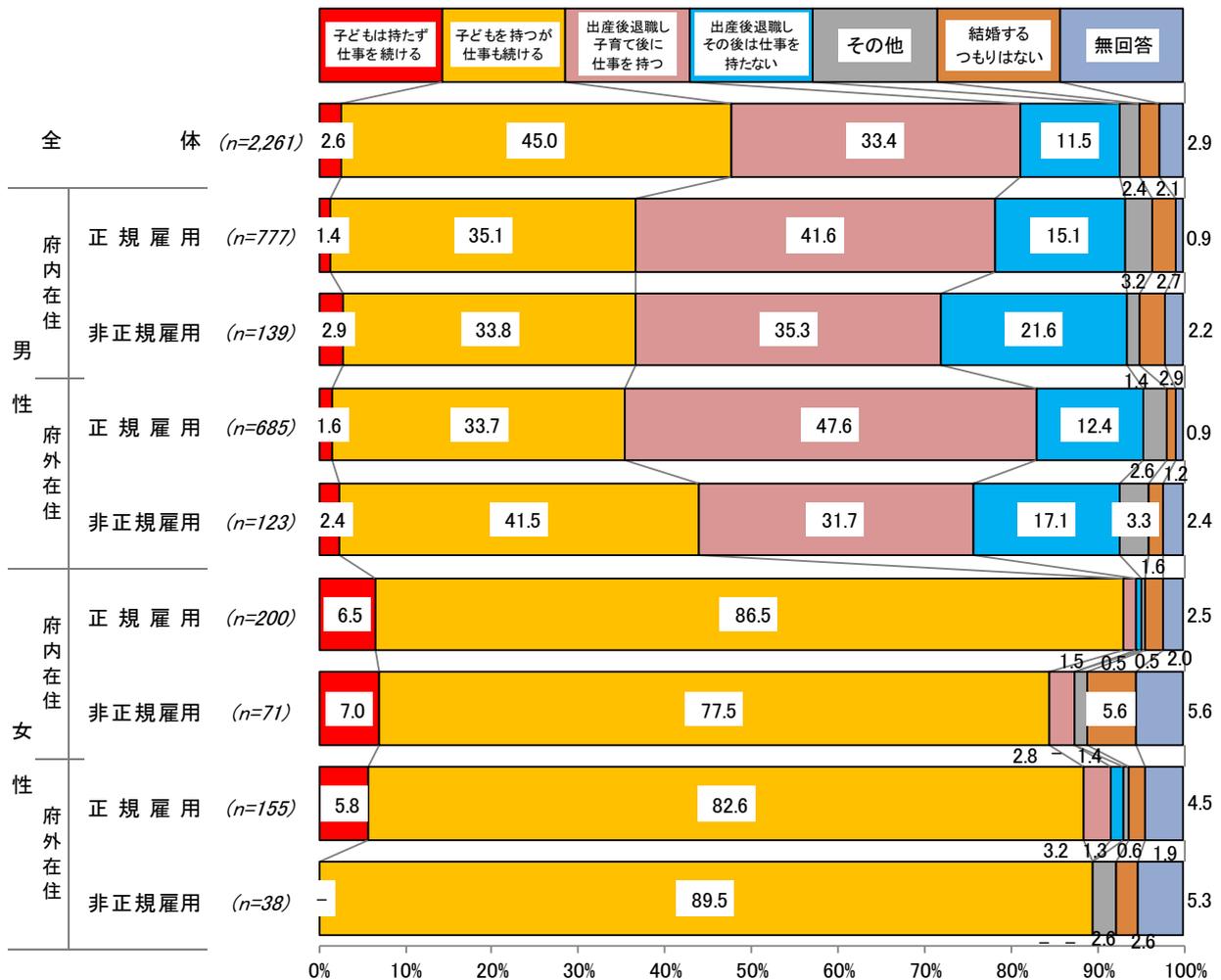
図表 5-2-3 配偶者（パートナー）に望むライフコース（性・居住地・子どもの有無別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 5-2-4）、男性では、府外在住者は、就労状況による差が大きく、妻に対して「就労継続型」（正規 33.7%、非正規 41.5%）を望む者は正規雇用者より非正規雇用者に、「中断再就職型」（同 47.6%、31.7%）を望む者は非正規雇用者より正規雇用者に、それぞれ多くなっている。府内在住者には、就労状況による差はみられない。

女性では大きな差はみられない。

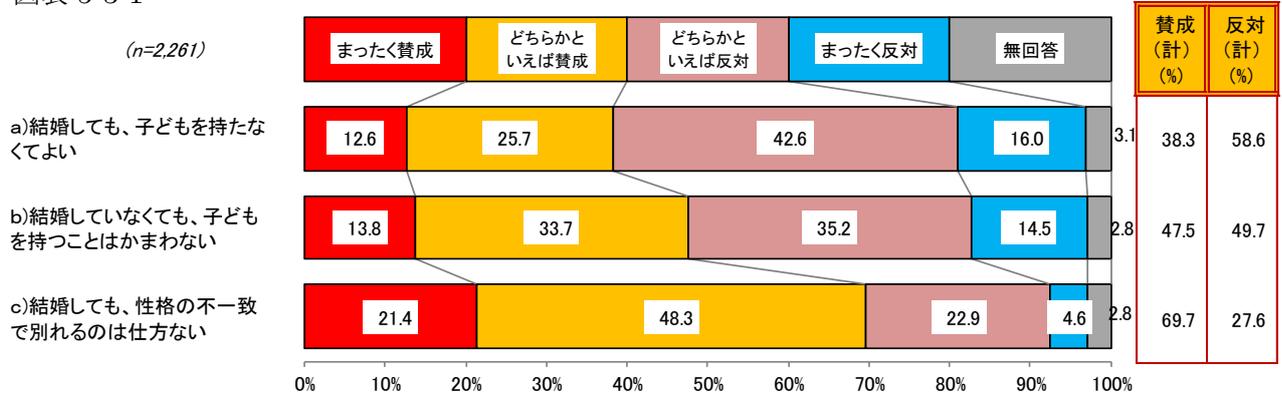
図表 5-2-4 配偶者（パートナー）に望むライフコース（性・居住地・就労状況別）



### (3) 結婚、家庭、子どもについての考え

問48 結婚、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下記のa)～c)のような考え方について、あなたご自身のお考えに最も近いものを、それぞれ1つずつお選びください。

図表 5-3-1



結婚、家庭、子どもについて、“結婚しても、子どもを持たなくてよい”“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”という、3つの考え方を示して、それぞれに対する意見を聞いた（図表 5-3-1）。

“結婚しても、子どもを持たなくてよい”という考え方については、「まったく賛成」という者が 12.6%で、「どちらかといえば賛成」（25.7%）という者を合わせると、約4割が『賛成』（38.3%）と回答している。

“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”という考え方についても、「まったく賛成」という者が 13.8%で、「どちらかといえば賛成」（33.7%）という者を合わせると、『賛成』が 47.5%となっている。

一方、“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”という考え方に「まったく賛成」という者は 21.4%で、「どちらかといえば賛成」（48.3%）を合わせると、約7割が『賛成』（69.7%）している。

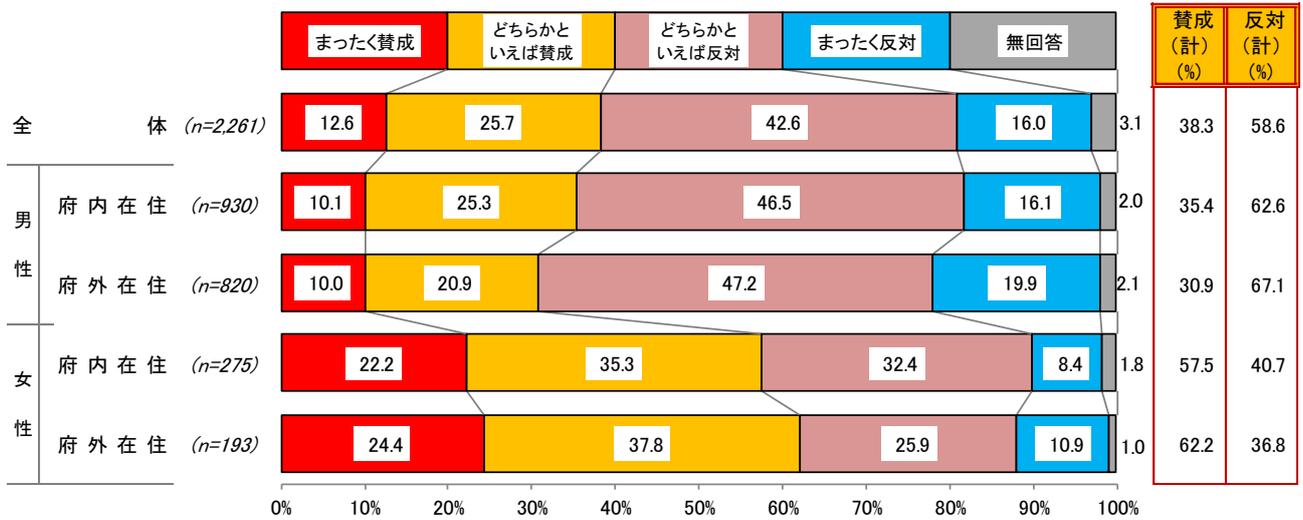
それぞれの考え方について性・居住地別にみると（図表 5-3-2）、男性では“結婚しても、子どもを持たなくてよい”という考え方に「まったく賛成」（府内 10.1%、府外 10.0%）という者に、居住地による大きな差はみられないが、「どちらかといえば賛成」（同 25.3%、20.9%）という者を合わせると、『賛成』（同 35.4%、30.9%）する者は府外在住者よりも、府内在住者にやや多い。女性で『賛成』する者は、府内在住者 7.5%、府外在住者は 62.2%と、府外在住者に多くなっている。男女で比較すると、男性よりも女性で『賛成』が大きく上回る。

“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”という考え方については（図表 5-3-2）、府内女性では『賛成』が 54.5%と、他の層より多くなっている。

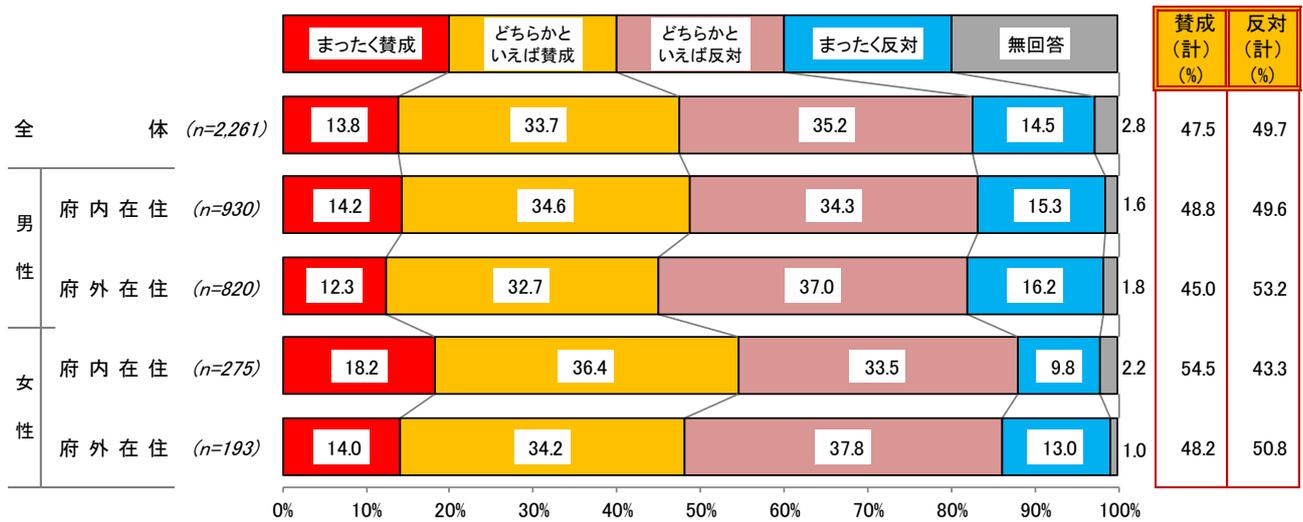
“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”という考え方については（図表 5-3-2）、府内在住の女性で「まったく賛成」（33.5%）という者が他の層よりも多く、「どちらかといえば賛成」（49.1%）を合わせると、『賛成』する者は、82.5%となっている。男女別にみると、『賛成』する男性は7割近くで、女性は8割前後と、男女差がみられる。

図表 5-3-2 結婚、家庭、子どもについての考え（性・居住地別）

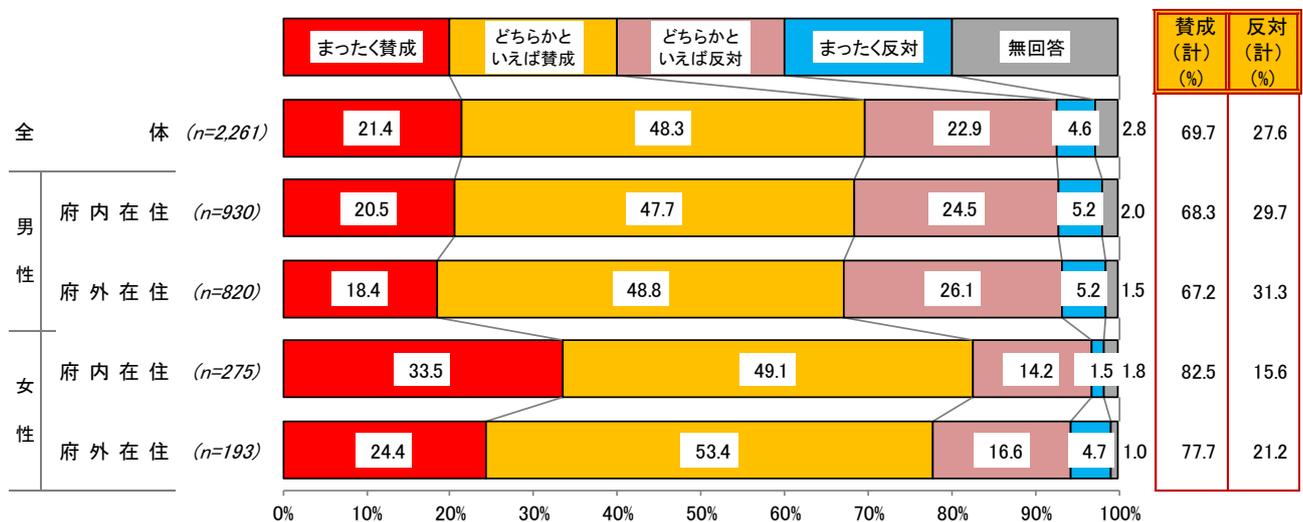
a)結婚しても、子どもを持たなくてよい



b)結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない

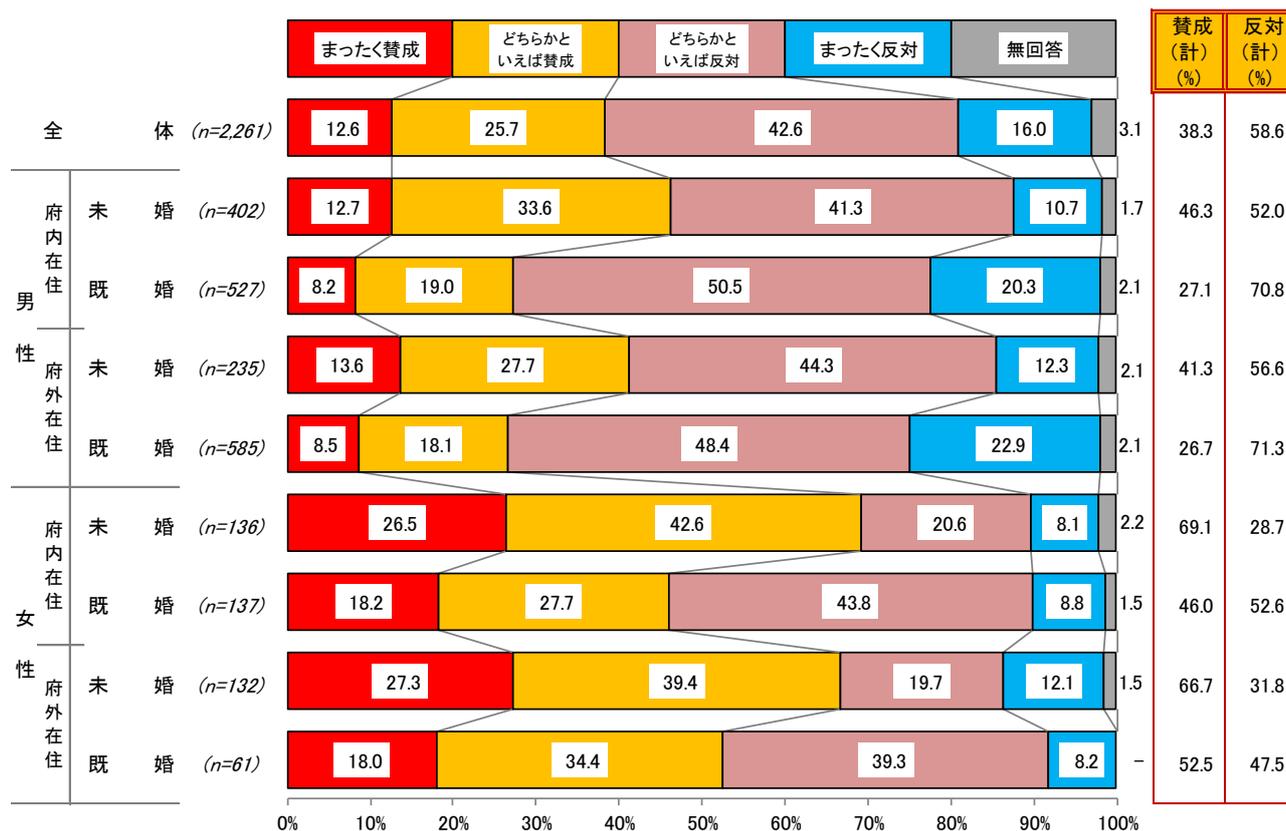


c)結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない



“結婚しても、子どもを持たなくてよい”という考え方について性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 5-3-3）、男女ともに婚姻状況による差が大きく、男性では、未婚者で『賛成』（府内 46.3%、府外 41.3%）が 4 割台であるのに対し、既婚男性の『賛成』（府内 27.1%、府外 26.7%）は 3 割弱となっている。一方、女性では未婚者の『賛成』（府内 69.1%、府外 66.7%）が 7 割近くであるのに対して、既婚女性の『賛成』（府内 46.0%、府外 52.5%）は 5 割前後となっており、男女とも既婚者より未婚者の方が、男女別では男性より女性の方が賛成者が多い。

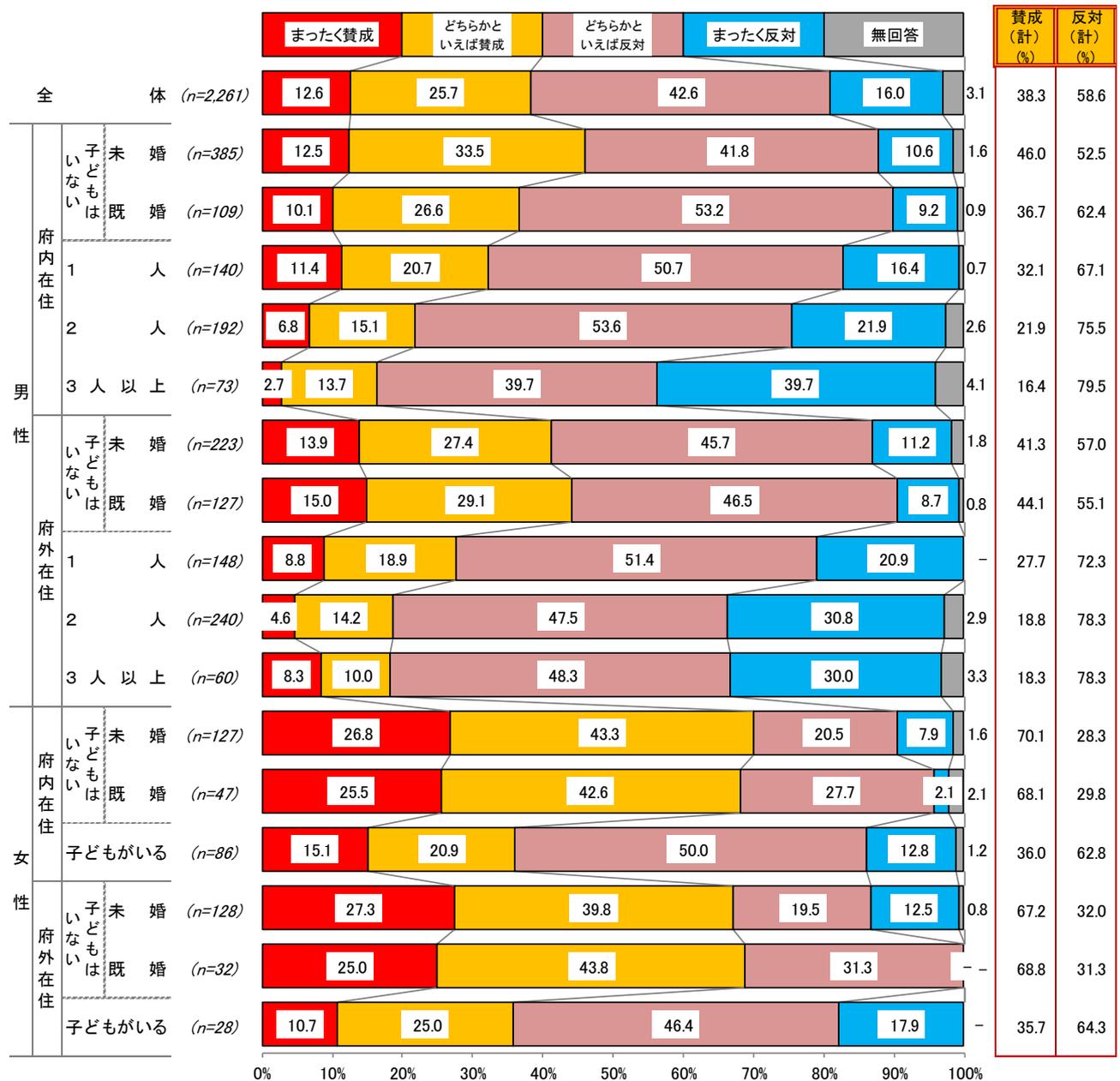
図表 5-3-3 結婚、家庭、子どもについての考え：“結婚しても、子どもを持たなくてよい”  
（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 5-3-4）、男性では、子どもの人数が多い層ほど『反対』する者が多くなり、子どもが3人以上（府内 79.5%、78.3%）いる層では、ほぼ8割が『反対』と回答している。

府内在住の女性では、子どもがいない未婚者では7割が『賛成』（70.1%）と回答しているが、子どもがいる者は36.0%で、6割以上が『反対』（62.8%）と回答している。

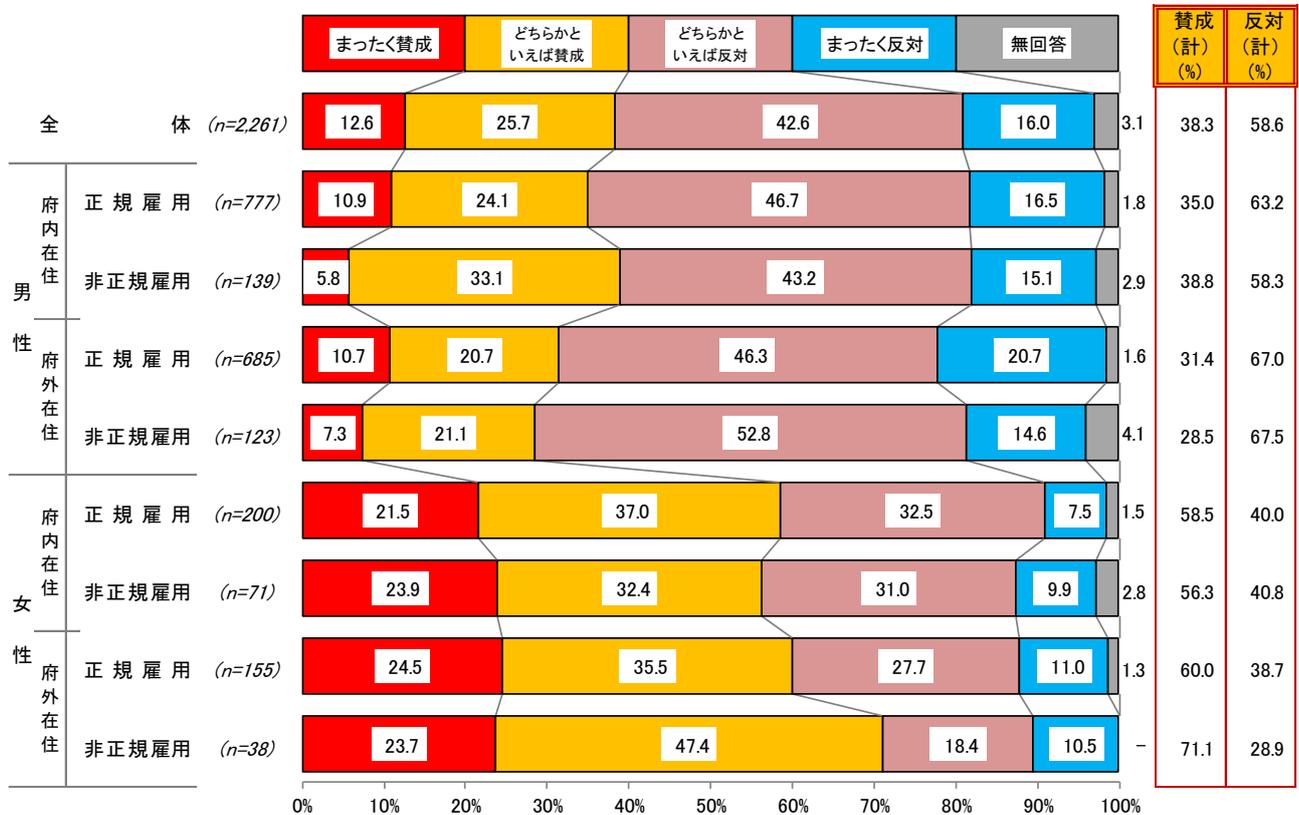
図表 5-3-4 結婚、家庭、子どもについての考え：“結婚しても、子どもを持たなくてよい”  
（性・居住地・子どもの人数別）



性・居住地・就労状況別にみると(図表 5-3-5)、男性では、府内在住の非正規雇用者で『賛成』(38.8%)する者が、やや多い。一方、女性では、居住地・就労状況による大きな差がみられない。

図表 5-3-5 結婚、家庭、子どもについての考え：“結婚しても、子どもを持たなくてよい”

(性・居住地・就労状況別)

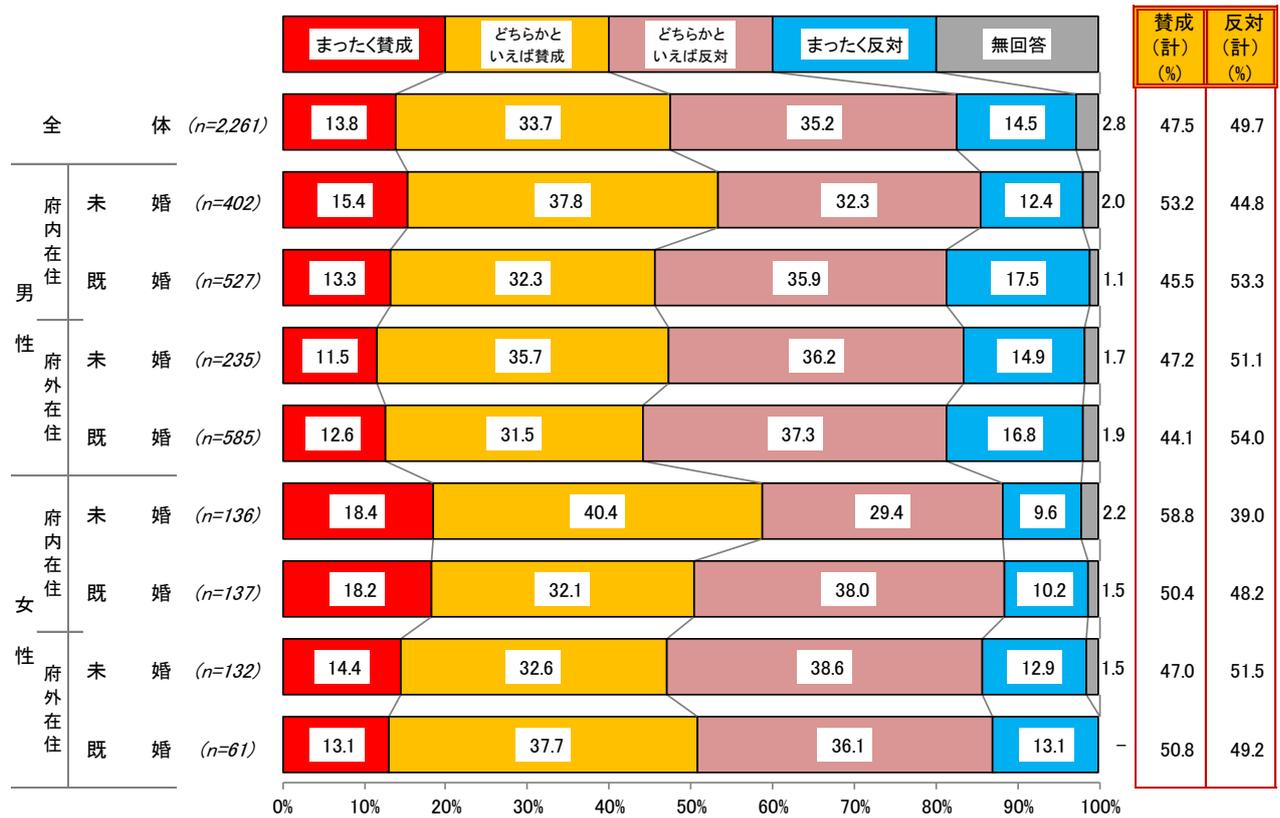


“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”という考え方について性・居住地・婚姻状況別（図表 5-3-6）にみると、男女ともに『賛成』という者は、府内在住の既婚者（男性 45.5%、女性 50.4%）よりも府内在住の未婚者（同 53.2%、58.8%）に多い。

男女ともに府外在住者では、婚姻状況による大きな差はみられない。

図表 5-3-6 結婚、家庭、子どもについての考え：

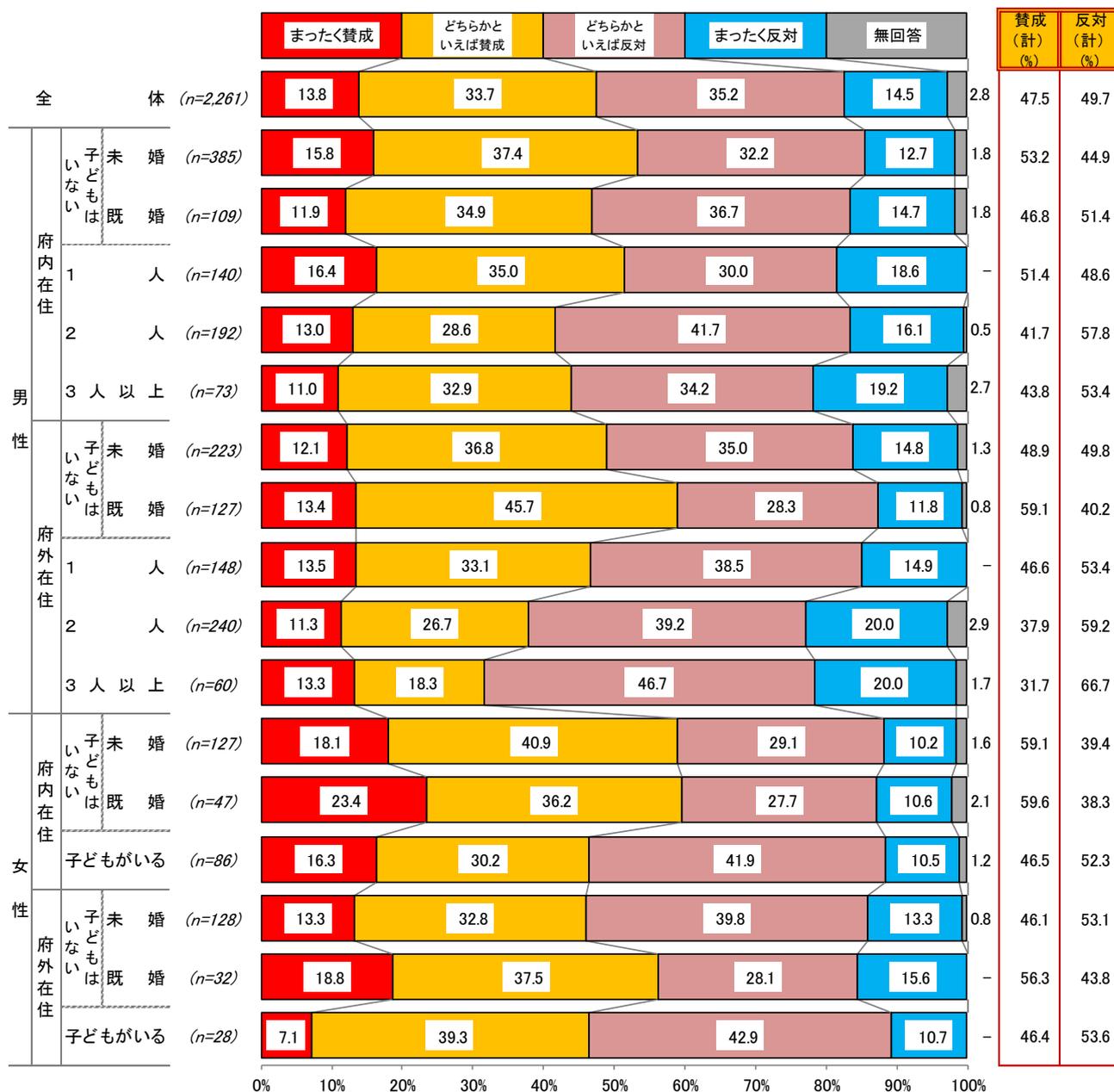
“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 5-3-7）、府内在住の男性は子どもの人数による大きな差はみられないが、府外在住者では子どもの人数が多い層ほど『反対』という者が多くなっている。一方、女性では、府内在住の子どものいない未婚者では『賛成』（59.1%）という者が 6 割近いが、子どもがいる女性では 4 割台で、過半数は『反対』（52.3%）と回答している。

図表 5-3-7 結婚、家庭、子どもについての考え：

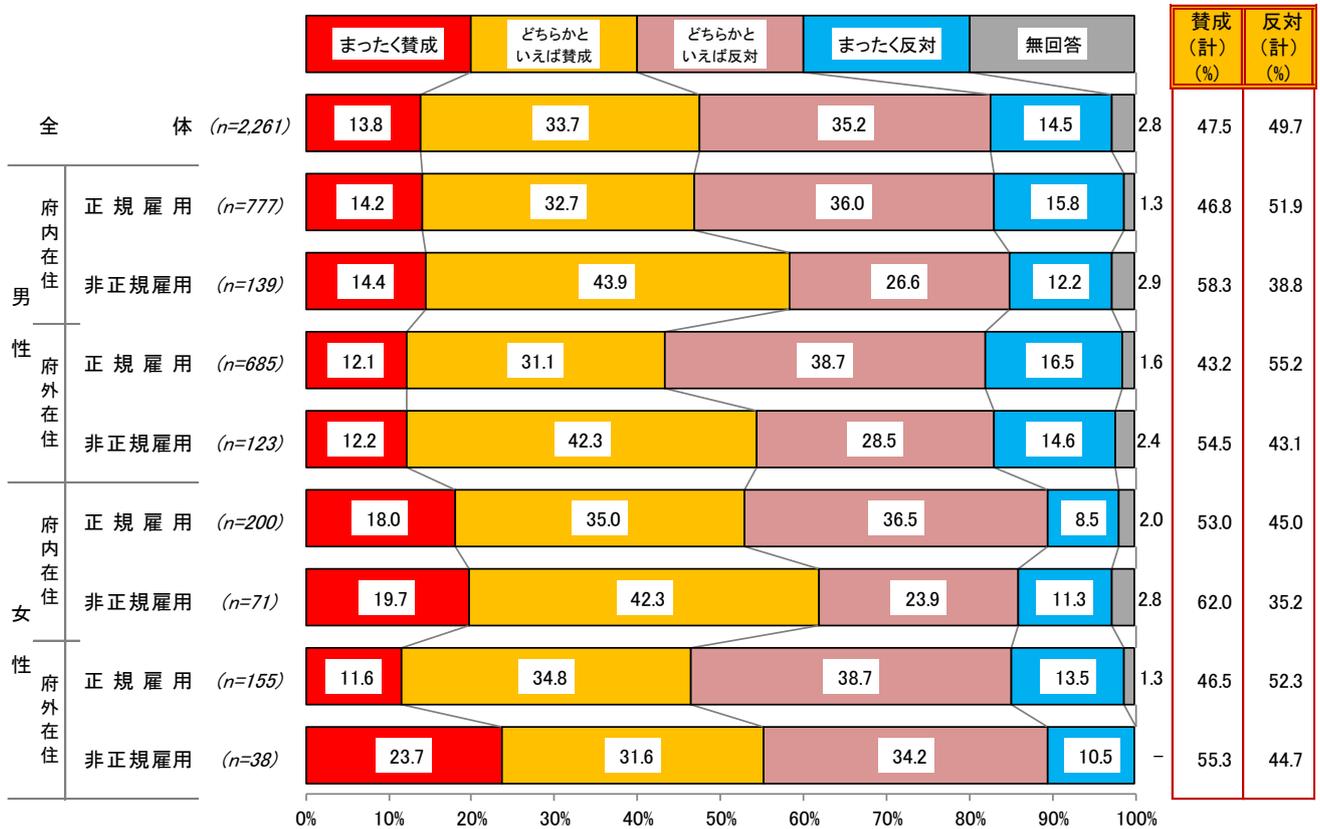
“結婚してなくても、子どもを持つことはかまわない”（性・居住地・子どもの人数別）



性・居住地・就労状況別にみると(図表 5-3-8)、男性では居住地にかかわらず正規雇用者(府内 46.8%、府外 43.2%)より非正規雇用者(同 58.3%、54.5%)に『賛成』という者は多い。女性の府内在住者も同様に、正規雇用者は 53.0%、非正規雇用者は 62.0%が『賛成』となっている。

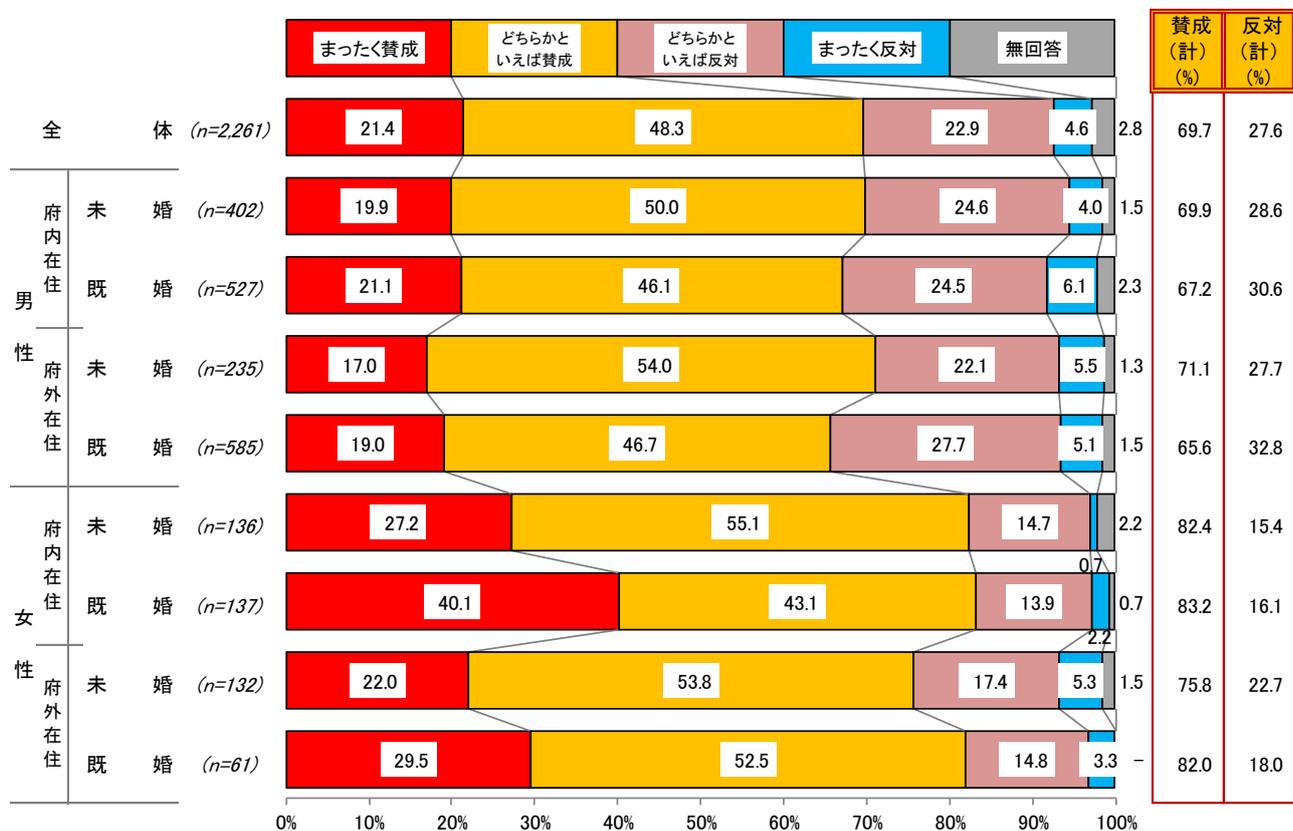
図表 5-3-8 結婚、家庭、子どもについての考え：

“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”(性・居住地・就労状況別)



“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”という考え方について性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 5-3-9）、男性では大きな差はみられない。一方、女性では、府内在住の既婚者で「まったく賛成」と強く賛成する者が 40.1%と、目立って多くなっている。

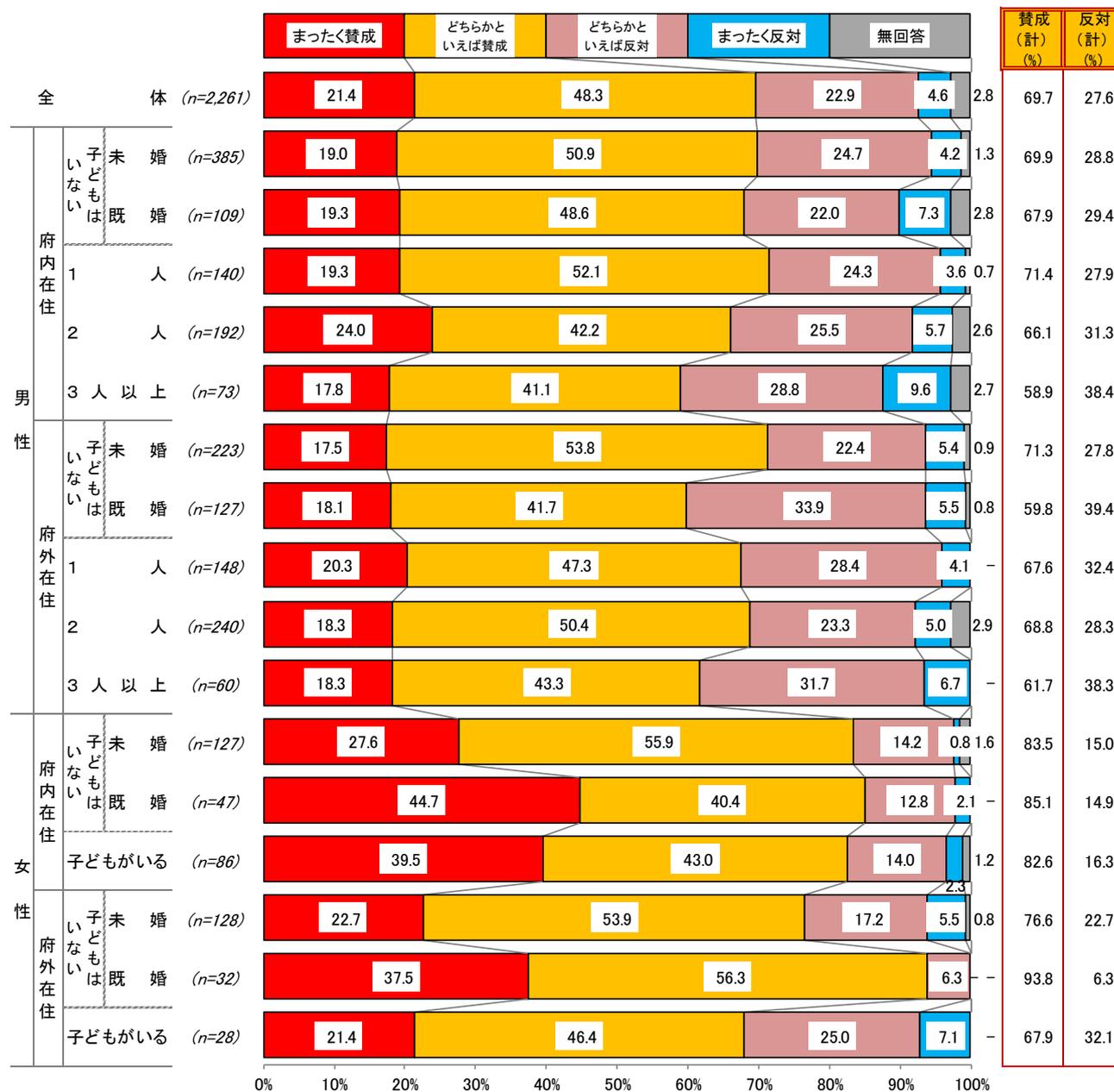
図表 5-3-9 結婚、家庭、子どもについての考え：  
 “結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 5-3-10）、男性では、子どものいる者は、子どもの人数が多い層ほど『反対』という者が多い傾向がある。子どものいない層で『賛成』するという者は、府内在住者（未婚 69.9%、既婚 67.9%）は婚姻状況による差はみられないが、府外在住者（同 71.3%、59.8%）では既婚者の 6 割程度で、『反対』（同 27.8%、39.4%）という者が未婚者より多くなっている。

図表 5-3-10 結婚、家庭、子どもについての考え：

“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”（性・居住地・子どもの人数別）

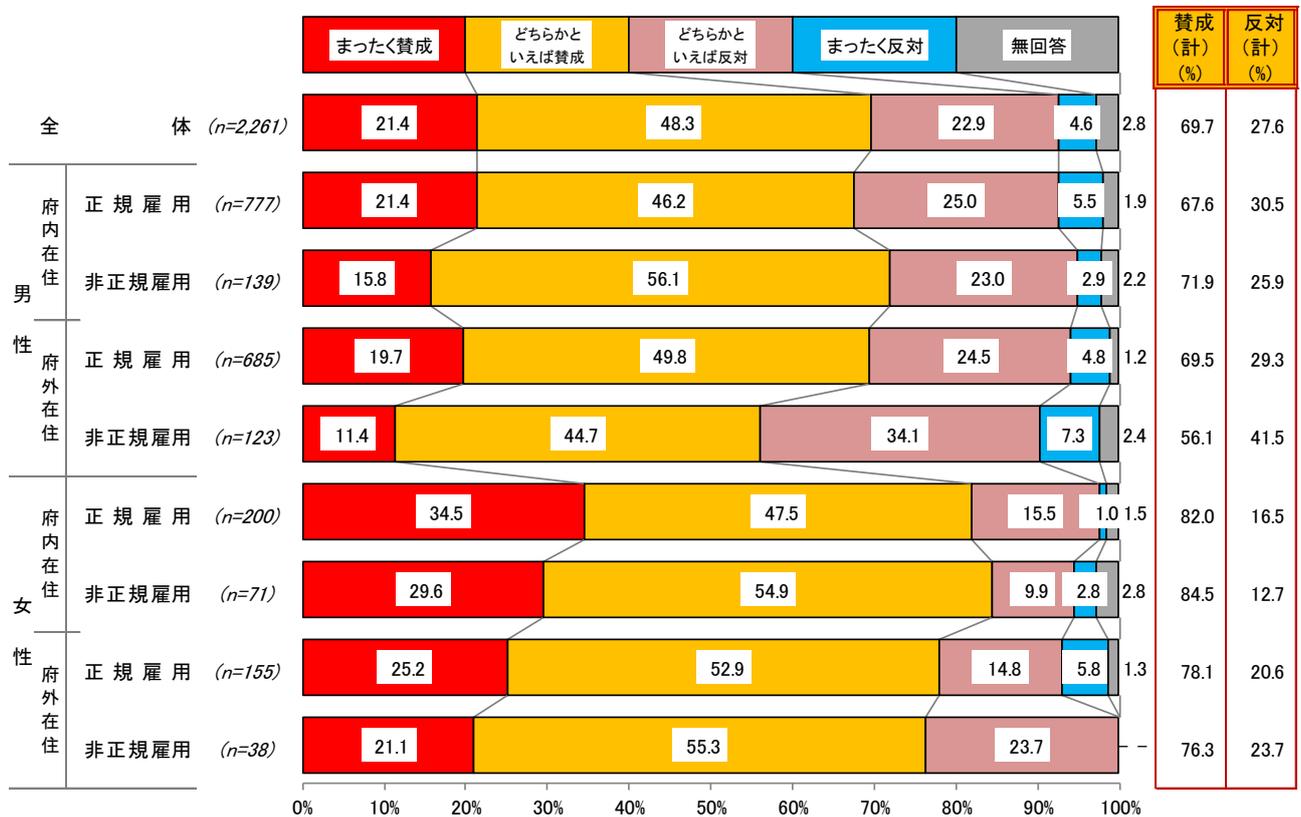


性・就労状況別にみると（図表 5-3-11）、男性の府外在住者（正規 69.5%、非正規 56.1%）では、非正規雇用者よりも正規雇用者に『賛成』という者が多い。府内在住の男性には、就労状況による差はみられない。

一方、女性もまた、就労状況による大きな差はみられない。

図表 5-3-11 結婚、家庭、子どもについての考え：

“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”（性・居住地・就労状況別）



#### (4) 今後、子どもを持つ条件

問49 あなたご自身が今後、子どもを持つ場合（既に子どもがいる人は、さらに子どもを持つ場合）の状況としては、どんなことが考えられますか。あてはまるものを5つまでお選びください。

図表 5-4-1

		結婚すること	雇用が安定すること	教育にお金がかからないこと	健康上の問題がないこと	地域の保育サービスが整うこと（保育所や一時預かりなど）	地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと	職場に、働きながら子育てができる制度があること	職場の上司や、同僚の理解があること	家がある程度広いこと	自分または配偶者が高齢でないこと	得られること 配偶者の家事・育児への協力が	住居にお金がかからないこと	自分の昇進・昇格に差し支えないこと	配偶者以外の家族が、近居または同居できること	出産・育児について相談できる地域の人がいること	不妊治療が受けられること	その他	特にな	無回答
全	体 (n=2261)	43.4	38.2	35.4	35.3	29.1	28.0	25.8	20.1	19.8	19.7	19.7	18.8	8.0	6.4	5.5	4.2	0.8	5.6	2.8
男	府内在住 (n=930)	46.3	39.5	39.4	32.2	25.9	28.5	23.1	15.7	22.5	17.4	14.3	23.4	7.7	4.3	5.2	3.4	0.8	5.4	2.4
	府外在住 (n=820)	35.7	41.3	38.9	38.5	25.7	27.6	20.5	17.1	21.2	23.7	13.9	19.1	8.8	5.9	5.1	3.9	0.6	7.2	1.7
女	府内在住 (n=275)	47.3	29.8	28.7	40.0	41.5	29.1	40.0	32.7	14.9	20.7	40.7	14.2	6.9	14.2	6.9	7.6	1.8	4.0	1.1
	府外在住 (n=193)	61.1	32.6	16.1	36.8	44.6	29.0	44.6	38.9	10.4	15.0	43.5	3.6	7.8	8.3	6.2	4.1	-	3.1	0.5

今後、（さらに）子どもを持つ場合の条件としては（図表 5-4-1）、「結婚すること」が 43.4%で最も多くあげられ、以下「雇用が安定すること」（38.2%）、「教育にお金がかからないこと」（35.4%）、「健康上の問題がないこと」（35.3%）、「地域の保育サービスが整うこと（保育所や一時預かりなど）」（29.1%）、「地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと」（28.0%）、「職場に、働きながら子育てができる制度があること」（25.8%）などの順となっている。

性・居住地別にみると（図表 5-4-1）、男性では、「結婚すること」（府内 46.3%、府外 35.7%）と「住居にお金がかからないこと」（同 23.4%、19.1%）は府外在住者よりも府内在住者に多くあげられ、「健康上の問題がないこと」（同 32.2%、38.5%）と「自分または配偶者が高齢でないこと」（同 17.4%、23.7%）は府内在住者よりも府外在住者に多くあげられている。

女性では、「結婚すること」（府内 47.3%、府外 61.1%）が府内在住者よりも府外在住者に多くあげられ、「教育にお金がかからないこと」（同 28.7%、16.1%）と「住居にお金がかからないこと」（同 14.2%、3.6%）は、府外在住者よりも府内在住者に多くあげられている。

男女別にみると、男性では「雇用が安定すること」（府内 39.5%、府外 41.3%）と「教育にお金がかからないこと」（同 39.4%、38.9%）が女性よりも多くあげられ、女性では「地域の保育サービスが整うこと」（同 41.5%、44.6%）、「職場に、働きながら子育てができる制度があること」（同 40.0%、44.6%）、「職場の上司や、同僚の理解があること」（同 32.7%、38.9%）、「配偶者の家事・育児への協力が得られること」（同 40.7%、43.5%）などが男性よりも多くあげられている。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 5-4-2）、男女ともそれぞれ居住地にかかわらず「結婚すること」は、未婚者の 8 割前後があげている。また、「教育にお金がかからないこと」と「家がある程度広いこと」は、未婚者よりも既婚者に多くあげられている。このほか、府内在住の男性では、「雇用が安定すること」（未婚 35.1%、既婚 42.9%）、「地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと」（同 18.4%、36.2%）、「地域の保育サービスが整うこと」（同 22.6%、28.5%）と「住居にお金がかからないこと」（同 18.4%、27.3%）が、府外在住の男性では「健康上の問題がないこと」（同 32.3%、41.0%）が、それぞれ未婚者より既婚者に多くあげられている。

一方、女性の府内在住者では、「職場の上司や、同僚の理解があること」（未婚 25.0%、既婚 40.9%）、「住居にお金がかからないこと」（同 8.1%、20.4%）、「配偶者以外の家族が、近居または同居できること」（同 8.8%、19.7%）が、府外在住者では「地域の保育サービスが整うこと」（同 39.4%、55.7%）、「地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと」（同 22.0%、44.3%）、「職場の上司や、同僚の理解があること」（同 31.1%、55.7%）、「家がある程度広いこと」（同 7.6%、16.4%）、「不妊治療が受けられること」（同 1.5%、9.8%）が、それぞれ未婚者よりも既婚者に多くあげられている。

図表 5-4-2 今後、子どもを持つ条件（性・居住地・婚姻状況別）

		結婚すること	雇用が安定すること	教育にお金がかからないこと	健康上の問題がないこと	地域の保育サービスが整うこと（保育所や一時預かりなど）	地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと	職場の制度があること	職場の上司や、同僚の理解があること	家がある程度広いこと	自分または配偶者が高齢でないこと	配偶者の家事・育児への協力が得られること	住居にお金がかからないこと	自分の昇進・昇格に差し支えないこと	配偶者以外の家族が、近居または同居できること	出産・育児について相談できる地域の人がいること	不妊治療が受けられること	その他の	特にな	無回答	
全体	(n=2,261)	43.4	38.2	35.4	35.3	29.1	28.0	25.8	20.1	19.8	19.7	19.7	18.8	8.0	6.4	5.5	4.2	0.8	5.6	2.8	
男性	府内在住 未婚	(n=402)	78.9	35.1	21.6	30.6	22.6	18.4	23.4	15.4	17.4	16.7	15.7	18.4	7.0	4.2	5.7	1.7	0.2	4.7	2.2
	府内在住 既婚	(n=527)	21.6	42.9	52.9	33.4	28.5	36.2	23.0	15.9	26.4	18.0	13.3	27.3	8.3	4.4	4.7	4.7	1.1	5.9	2.3
	府外在住 未婚	(n=235)	79.6	40.0	19.6	32.3	21.3	18.3	22.6	15.7	12.8	19.1	14.0	15.7	6.4	3.8	4.7	2.1	0.9	6.0	1.3
	府外在住 既婚	(n=585)	18.1	41.9	46.7	41.0	27.5	31.3	19.7	17.6	24.6	25.5	13.8	20.5	9.7	6.7	5.3	4.6	0.5	7.7	1.9
女性	府内在住 未婚	(n=136)	76.5	27.2	16.2	38.2	40.4	26.5	40.4	25.0	14.0	19.1	43.4	8.1	8.8	8.8	7.4	8.1	0.7	3.7	1.5
	府内在住 既婚	(n=137)	18.2	32.1	41.6	42.3	43.1	32.1	40.1	40.9	16.1	22.6	38.7	20.4	5.1	19.7	5.8	7.3	2.9	3.6	0.7
	府外在住 未婚	(n=132)	81.8	36.4	12.1	37.1	39.4	22.0	42.4	31.1	7.6	13.6	41.7	1.5	6.1	6.1	6.1	1.5	-	2.3	0.8
	府外在住 既婚	(n=61)	16.4	24.6	24.6	36.1	55.7	44.3	49.2	55.7	16.4	18.0	47.5	8.2	11.5	13.1	6.6	9.8	-	4.9	-

性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 5-4-3）、男性では、「雇用が安定すること」と「教育にお金がかからないこと」は、居住地にかかわらず子どもの人数が多い層ほど多くあげている。その他、子どものいない既婚者と子どもが 1 人いる対象者で、「健康上の問題がないこと」と「地域の保育サービスが整うこと」が、他の層より多くあげられている。

このほか、府内在住の男性では子どもがいない既婚者及び子どもがいる層で「地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと」「住居にお金がかからないこと」がやや多くあげられている。

一方、府内在住の女性では、子どもがいる層で「教育にお金がかからないこと」（53.5%）、「雇用が安定すること」（32.6%）、「職場の上司や、同僚の理解があること」（41.9%）、「住居にお金がかからないこと」（20.9%）などが、子どものいない未婚者より多くあげられている。

図表 5-4-3 今後、子どもを持つ条件（性・居住地・子どもの人数別）

			結婚すること	雇用が安定すること	教育にお金がかからないこと	健康上の問題がないこと	地域の保育サービスが整うこと（保育所や一時預かりなど）	地域のお金がかからないこと	地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと	職場に、働きながら子育てができる制度があること	職場の上司や、同僚の理解があること	家がある程度広いこと	自分または配偶者が高齢でないこと	配偶者の家事・育児への協力が得られること	住居にお金がかからないこと	自分の昇進・昇格に差し支えないこと	配偶者以外の家族が、近居または同居できること	出産・育児について相談できる	不妊治療が受けられること	その他	特にない	無回答
全	体	(n=2,261)	43.4	38.2	35.4	35.3	29.1	28.0	25.8	20.1	19.8	19.7	19.7	18.8	8.0	6.4	5.5	4.2	0.8	5.6	2.8	
男	府内在住	子どもがいない 未婚 (n=385)	79.0	34.5	21.6	30.6	22.6	18.4	23.4	14.5	18.2	17.1	15.6	18.4	7.0	3.9	5.7	1.8	0.3	4.9	2.1	
		子どもがいない 既婚 (n=109)	23.9	39.4	38.5	36.7	33.9	35.8	25.7	17.4	24.8	9.2	9.2	26.6	10.1	3.7	6.4	12.8	0.9	6.4	2.8	
		1 人 (n=140)	23.6	38.6	47.1	39.3	33.6	37.9	26.4	20.0	27.9	22.1	16.4	26.4	10.7	4.3	5.7	2.9	-	2.1	2.1	
	府外在住	1 人 (n=192)	18.8	45.8	59.9	28.6	22.9	35.4	18.8	12.0	25.5	23.4	13.5	28.6	5.7	4.2	2.6	3.6	2.1	7.3	1.6	
		2 人 (n=73)	20.5	49.3	69.9	28.8	27.4	38.4	23.3	15.1	28.8	11.0	13.7	28.8	8.2	6.8	4.1	-	1.4	6.8	2.7	
		3 人以上 (n=223)	80.3	39.9	19.3	33.2	21.1	18.8	22.4	15.2	13.5	19.7	14.3	16.1	5.8	3.6	4.9	2.2	0.9	5.8	0.9	
	府外在住	子どもがいない 既婚 (n=127)	22.8	42.5	34.6	42.5	33.9	29.9	25.2	24.4	18.1	17.3	14.2	18.9	19.7	4.7	9.4	9.4	0.8	9.4	1.6	
		1 人 (n=148)	14.9	39.2	45.3	48.0	28.4	36.5	25.0	21.6	23.6	29.1	18.9	20.3	10.1	6.1	4.1	4.1	0.7	4.7	-	
		2 人 (n=240)	18.3	42.9	53.8	37.5	25.8	28.8	14.2	13.3	28.8	27.9	10.8	21.3	5.4	8.8	4.2	1.7	0.4	8.3	1.7	
3 人以上 (n=60)		15.0	45.0	51.7	36.7	20.0	35.0	16.7	10.0	26.7	25.0	15.0	23.3	6.7	3.3	5.0	5.0	-	8.3	3.3		
女	府内在住	子どもがいない 未婚 (n=127)	77.2	26.0	16.5	40.9	40.9	26.8	40.9	24.4	14.2	20.5	44.9	8.7	9.4	8.7	7.1	7.9	0.8	2.4	1.6	
		子どもがいない 既婚 (n=47)	17.0	25.5	23.4	36.2	57.4	34.0	36.2	40.4	17.0	27.7	40.4	19.1	4.3	17.0	12.8	12.8	2.1	4.3	-	
	府外在住	子どもがいる (計) (n=86)	18.6	32.6	53.5	45.3	34.9	31.4	44.2	41.9	15.1	19.8	39.5	20.9	4.7	22.1	2.3	2.3	3.5	3.5	1.2	
		子どもがいない 未婚 (n=128)	82.0	35.2	12.5	36.7	39.8	22.7	43.8	32.0	7.0	14.1	43.0	0.8	6.3	5.5	6.3	1.6	-	2.3	-	
		子どもがいない 既婚 (n=32)	21.9	21.9	15.6	37.5	50.0	34.4	53.1	50.0	12.5	21.9	46.9	6.3	9.4	12.5	12.5	18.8	-	9.4	-	
府外在住	子どもがいる (計) (n=28)	10.7	28.6	35.7	32.1	60.7	53.6	46.4	64.3	21.4	10.7	46.4	10.7	14.3	14.3	-	-	-	-	-		

性・居住地・就労状況別にみると(図表 5-4-4)、府内在住の男性では、「結婚すること」(正規 45.2%、非正規 54.0%)と「雇用が安定すること」(同 37.3%、51.1%)は正規雇用者より非正規雇用者に、「教育にお金がかからないこと」(同 41.6%、28.8%)、「健康上の問題がないこと」(同 34.1%、20.9%)、「地域の保育サービスが整うこと」(同 27.2%、18.0%)は非正規雇用者より正規雇用者に、それぞれ多くあげられている。

一方、府外在住の男性では、「健康上の問題がないこと」(同 39.7%、30.9%)と「自分または配偶者が高齢でないこと」(同 25.5%、13.8%)は非正規雇用者より正規雇用者に、このほか「雇用が安定すること」(同 40.1%、49.6%)、「地域の保育サービスが整うこと」(同 24.4%、35.0%)、「職場に、働きながら子育てができる制度があること」(同 18.8%、28.5%)、「職場の上司や、同僚の理解があること」(同 15.2%、28.5%)、「自分の昇進に差支えがないこと」(同 7.0%、16.3%)、「出産・育児について相談できる地域の人がいること」(同 3.9%、10.6%)は、正規雇用者よりも非正規雇用者に、それぞれ多くあげられている。

府内在住の女性では、「配偶者の家事・育児への協力が得られること」(同 44.5%、32.4%)、「地域の保育サービスが整うこと」(同 44.0%、35.2%)、「職場の上司や、同僚の理解があること」(同 36.5%、22.5%)が、非正規雇用者よりも正規雇用者に多くあげられている。

また、正規雇用の女性をみると、「健康上の問題がないこと」(府内 41.5%、府外 36.8%)、「教育にお金がかからないこと」(同 27.0%、15.5%)、「配偶者以外の家族が、近居または同居できること」(同 15.0%、9.0%)、「家がある程度広いこと」(同 13.5%、9.7%)、「住居にあまりお金がかからないこと」(同 13.0%、4.5%)は府外在住者より府内在住者に、やや多くなっている。

図表 5-4-4 今後、子どもを持つ条件(性・居住地・就労状況別)

		結婚すること	雇用が安定すること	教育にお金がかからないこと	健康上の問題がないこと	地域の保育サービスが整うこと (保育所や一時預かりなど)	地域のお金がかからないこと (地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと)	職場に、働きながら子育てができる制度があること	職場の上司や、同僚の理解があること	家がある程度広いこと	自分または配偶者が高齢でないこと	配偶者の家事・育児への協力が得られること	住居にお金がかからないこと	自分の昇進・昇格に差し支えないこと	配偶者以外の家族が、近居または同居できること	出産・育児について相談できる地域の人がいること	不妊治療が受けられること	その他の	特にな	無回答		
全	体 (n=2,261)	43.4	38.2	35.4	35.3	29.1	28.0	25.8	20.1	19.8	19.7	19.7	18.8	8.0	6.4	5.5	4.2	0.8	5.6	2.8		
性	男	府内在住	正規雇用 (n=777)	45.2	37.3	41.6	34.1	27.2	29.2	22.4	15.4	22.9	18.5	14.7	23.8	7.9	4.1	5.3	3.3	0.9	5.0	1.8
		非正規雇用 (n=139)	54.0	51.1	28.8	20.9	18.0	25.9	27.3	16.5	20.1	12.2	12.2	23.7	7.9	5.0	4.3	3.6	-	7.2	3.6	
	府外在住	正規雇用 (n=685)	36.1	40.1	39.7	39.7	24.4	27.7	18.8	15.2	21.3	25.5	14.2	18.4	7.0	5.3	3.9	3.4	0.3	7.4	1.5	
		非正規雇用 (n=123)	33.3	49.6	36.6	30.9	35.0	28.5	28.5	28.5	21.1	13.8	10.6	22.0	16.3	8.9	10.6	6.5	2.4	5.7	2.4	
女	府内在住	正規雇用 (n=200)	49.0	30.5	27.0	41.5	44.0	27.5	41.0	36.5	13.5	20.0	44.5	13.0	7.0	15.0	7.0	8.0	0.5	3.5	0.5	
		非正規雇用 (n=71)	42.3	26.8	32.4	36.6	35.2	33.8	39.4	22.5	19.7	23.9	32.4	16.9	7.0	11.3	7.0	7.0	5.6	4.2	2.8	
	府外在住	正規雇用 (n=155)	62.6	32.3	15.5	36.8	47.1	29.7	45.8	40.6	9.7	17.4	44.5	4.5	8.4	9.0	6.5	2.6	-	2.6	0.6	
		非正規雇用 (n=38)	55.3	34.2	18.4	36.8	34.2	26.3	39.5	31.6	13.2	5.3	39.5	-	5.3	5.3	5.3	10.5	-	5.3	-	

